

編集後記

二七号をお届けいたします。ご寄稿いただいた先生方のご協力によって、年度内に刊行できました。有難うございました。

青山・田村・松本の三先生にはお忙しい中、玉稿を賜り篤くお礼申し上げます。青山先生の論文は枚数制限で、残念ながら一度に掲載できず、次号と分載となりました。

「東洋学研究所集刊」の編集方針等の一部変更に伴い、本号から講演会記録や研究所の活動報告へ彙報Vを掲載することになりました。結果、昨年一月二十九日に開催しました講演会（山極晃国際政治経済学部教授・雨海博洋学長）のご報告を掲載しました。山極先生は国際政治経済学部所属から初めての登場です。

いずれにせよ「集刊」は研究所の唯一の機関誌ですので、充実した内容にしなければなりません。「集刊」の刊行は勿論ですが、研究所の活動、実務等も順次ととのえていければと願っております。なにとぞ今後ともご指導、ご協力の程お願い申し上げます。形式上のことですが、表紙、背文字等の表記を統一しました。

（中村）

三、編集委員会の開催

第一回

- 日時 十一月十二日（火） 十六時
場所 千代田校舎会議室
- 議題 ① 東洋学研究所集刊第二十七集の編集について
② 東洋学研究所集刊投稿規程について
③ その他

四、講演会の開催

- 日時 十一月二十九日（金） 十四時
場所 千代田校舎二〇六教室
講演者 「アメリカの中国観」
国際政治経済学部教授 山極 晃

「王朝文学の形成基盤」

学 長 雨海 博洋